

|            |                                                                                                                               |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 志教育の<br>視点 | <input checked="" type="checkbox"/> かかわる ・ <input checked="" type="checkbox"/> もとめる ・ <input checked="" type="checkbox"/> はたす |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| 活動名    | インターンシップ                          |
| 教科・領域等 | 学校設定教科・科目…「就業体験」及び特別活動            |
| 活動学年等  | 2 学年                              |
| ねらい    | 職業体験により自分の能力と適性を知ること、希望する進路を実現する。 |

## 【実践内容】

## 〔志教育の視点〕

職業体験先の集団の中で従業員の方々と関わり合うことにより、周囲の人との適切なコミュニケーションを取りながら集団の一員として自己の役割を果たそうとする姿勢を身に付ける。

## 〔活動内容〕

## 1 受入先の確定と事前学習

まず、『インターンシップ事前アンケート』を配布し、体験してみたい職種を決めてもらった（7月の第1学期終業日まで）。それを受けた担当教員が、過去5年の実績を参考にしながら受入先を確定した（8月末日まで）。

生徒及び保護者から『インターンシップ参加同意書及び参加誓約書』を提出してもらい、受け入れ企業の内部情報を外部に漏らさない等の諸注意を徹底した（10月上旬）。

『インターンシップのしおり』を配布し、「自己紹介カード」「企業研究シート」の記入や実習に当たっての心得等を読み合わせる事前学習を11時間行った。

## 2 インターンシップの実践

11月13日(水)～14日(木)の2日間、就業体験を行った。

生徒は、『インターンシップのしおり』内にある「インターンシップ日誌」に記入し、終業後、それを担当の方に提出した上で指導・助言を受けながらコメントを頂戴した。

## 3 事後の学習と報告会

翌日、「お礼状」を完成させ、「自己評価シート」「就業体験レポート」の記入と確認を2時間行った。

インターンシップの成果とその共有を目的に開催する「インターンシップ報告会」に向け、パワーポイント作成等の発表準備を8時間かけて行った。

報告会当日は全校行事として執り行い、インターンシップ受入先の担当者にもご参観いただけた。生徒全員が成果報告の発表を視聴することで、自分が体験していない職種・業種も疑似体験できる効果も図ることができた。終了後、参加者全員に記入してもらった『視聴者シート（評価票）』を回収・分析することで、その成果を更に深めることができた。

## 〔今後につなげる ― 希望する進路を実現する〕

学校内の取り組みだけでは“井の中の蛙”のところを、企業のご協力によって初めて“大海を知る”教育活動（キャリア教育）が成り立つ。中には、受入先で実習指導を担当された方から、実習中における諸課題等を改めて教えていただいたり、継続してインターンシップを受け入れることを前提にした建設的な諸提案をいただいたりしている。

このように、教科書よりも生きた教材を活用することで、インターンシップの目的である「職業体験により自分の能力と適性を知ること、希望する進路を実現する」ことにつなげている。